

報道関係各位

2011年3月10日

(財) 建材試験センターで実証！
衝撃音を最大1/3に低減する『高性能遮音床』 開発

大東建託株式会社では、このたび、上階からの衝撃音を最大1/3にまで低減するオリジナル床構造『高性能遮音床』を開発いたしましたので、以下の通りお知らせします。

当社では、すべての2×4工法及びネオフレーム工法(※)の商品に『高性能遮音床』を順次導入してまいります。

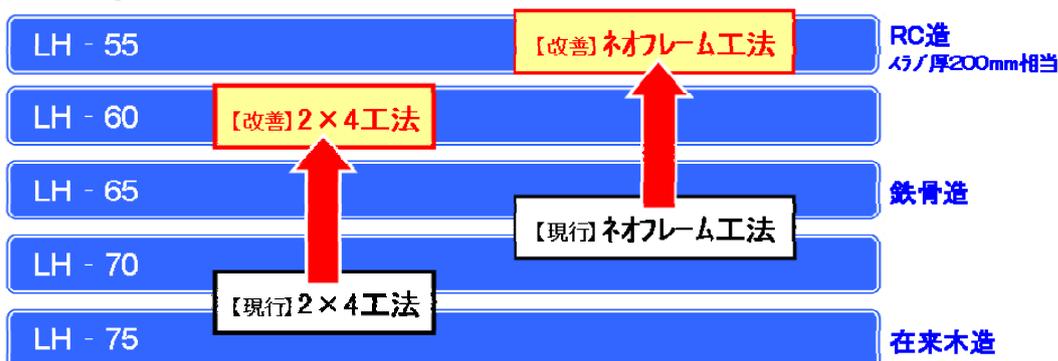
記

1. “ドスン” は1/2、“コツン” は1/3に！

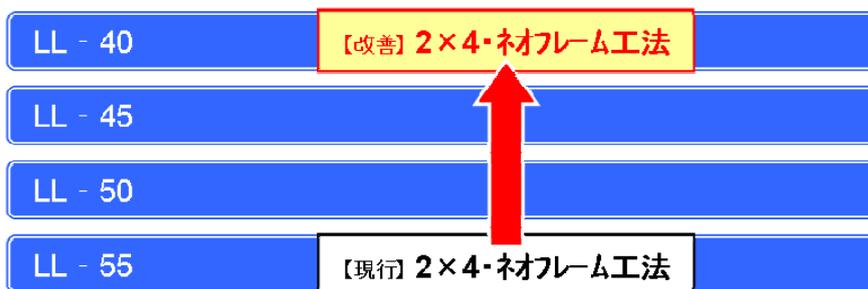
当社では、入居者様に快適な生活をご提供するため、遮音性を高める床構造を研究してまいりました。このたび、3種類の「遮音」「吸収」「防振」材料を組み合わせたオリジナル床構造『高性能遮音床』を開発し、上階からの衝撃音の大幅低減を実現。財団法人 建材試験センターが実施した遮音性能測定において、2×4工法で「LH-60」「LL-40」と鉄骨造以上の遮音性能、ネオフレーム工法では「LH-55」「LL-40」とRCマンション並の遮音性能が実証されました。

これにより、一般的な賃貸住宅と比べて、お子さまが走り回るような“ドスン”という重量衝撃音(LH)を1/2に、スプーンが落ちたときのような“コツン”という軽量衝撃音(LL)を1/3にまで低減。上下階に暮らす方々がお互いに気兼ねすることのない、快適な生活をご提供します。

【重量衝撃音】



【軽量衝撃音】



※数値が小さくなるほど遮音性能が高くなります。

L値とは…

床衝撃音に対する遮音性能（上階から下階への衝撃音の伝わりにくさ）を表す単位。

重量衝撃音（LH）と軽量衝撃音（LL）があり、数値が小さいほど遮音効果が高い。

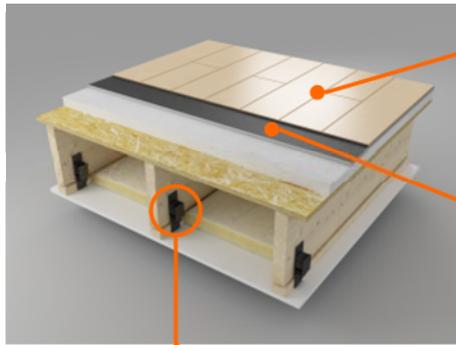
2. 「遮音」「吸収」「防振」に配慮したオリジナル構造

『高性能遮音床』は、当社オリジナル資材を使用し、「遮音」「吸収」「防振」に配慮した床構造です。

床材は高比重制震材を一体化した当社オリジナルの Neo フローリングを採用。音を遮るだけでなく、傷に強く、部分張り替えも可能なメンテナンス性に優れたフローリング材です。

床下地材は、ペット樹脂材と不織布で構成され、衝撃を分散、吸収し、駆体への伝達を効果的に抑制します。

さらに、吊木は高減衰ゴムを採用したせん断型のオリジナル防振吊木としました。一般的な吊木に比べ、振動を効率よく吸収し、床衝撃音の伝播を抑制しました。



遮音

高比重制震材を一体化したオリジナル床材(Neoフローリング)。傷に強く、もしもの時も部分張り替えが可能です。

吸収

衝撃を分散、吸収し、駆体への伝播を抑制したオリジナル遮音床下地材。適度な弾力性でソフトな歩行感を実現、床の冷え込みも緩和します。

防振

高減衰ゴムを採用したせん断型オリジナル防振吊木。振動を吸収して衝撃音の伝播を低減し、階下への振動音を確実に抑えます。

※ネオフレーム工法とは・・・

2×4工法の特徴である耐力パネルを強度の高い集成材フレームにはめ込んだ当社オリジナルの新工法。

以上

<この件に関するお問い合わせ>
大東建託株式会社・経営企画室
TEL (03)6718-9068

